

栃木県外来種対策方針

令和3(2021)年3月
栃木県環境森林部

1 策定の背景

(1) 現状

生態系等に被害をもたらす外来種が数多く定着。近年ではクビアカツヤカミキリの被害が急速拡大



オオハンゴンソウ

旺盛な繁殖力で在来の植物を押しのけて一面に広がることで、生態系に大きな影響をもたらす。
→生態系に被害



オオクチバス

在来の魚や水生昆虫を捕食することで、生態系に大きな影響をもたらす。
→生態系、漁業に被害



クビアカツヤカミキリ

幼虫がモモやサクラを食害し枯死させる。2017年に本県で初確認されてから、わずか数年で1,000本を超える被害
→農業(果樹)、生活環境に被害

(2) 課題

- ・ 分布・被害情報の把握が不十分
- ・ これまでは種ごとにそれぞれ対策を実施

総合的で戦略的な対策の実施に至っていない

2 基本理念

外来種問題が、生態系、農林水産業、人の生命身体など社会全体に対する脅威であることを県民との共通認識とし、全県をあげて、本県の地域特性に応じた総合的で戦略的な対策に取り組む。

3 実施方針

(1) 施策対象

本県において、侵略性の程度が高い（生態系等に大きな影響を及ぼす）外来種
※外来生物法に基づき指定される特定外来生物には限定しない。

(2) 戦略的な対策

- 本県の生態系の固有性・特徴や農林水産業の状況などを踏まえ、本県として守るべき対象（場所、希少種など）を選定。
- 外来種の基礎情報を把握したうえで侵略性や対策の緊急性を評価し、対策の優先順位をつける。
- 対策方法等を検討のうえ、集中的に取り組む。

情報収集	<ul style="list-style-type: none">・県内有識者などの協力を得て基礎情報（分布・被害状況等）を整備する。・継続的な情報収集及び整理の仕組みを確立する。<ul style="list-style-type: none">・窓口を明確化し、県民からの積極的な情報提供を促す。市町とも情報共有・連携・被害状況の把握等にあたっては関係部局との連携を強化
情報の分析、対策の優先順位付け	<ul style="list-style-type: none">・外来種の分布・被害状況は、専門家によるレビューを継続的に行い、状況を科学的・定量的に分析する。・本県の生態系の固有性などと上記分析から、外来種の侵略性や対策の緊急性を評価。対策の優先順位をつける。
駆除等の対策	<ul style="list-style-type: none">・対策の優先順位をもとに、関係主体と連携協力し、集中的に駆除等を実施。・対策方法の立案にあたっては、有識者の助言等を得る。

※対策の進め方：駆除等の対策結果を有識者も交えて評価・検証し、その結果を施策立案にフィードバックすることで、柔軟的に対策を進める（順応的管理）。

3 実施方針

(3) 普及啓発

県民を様々な主体の理解と協力は、外来種対策を効果的に進めるために不可欠であるため、積極的な情報提供、普及啓発を実施。

普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種対策の意義について整理し普及啓発を実施する。 ・ 外来種の分布等の情報や対策の成果は、積極的に県民と共有する。
------	---

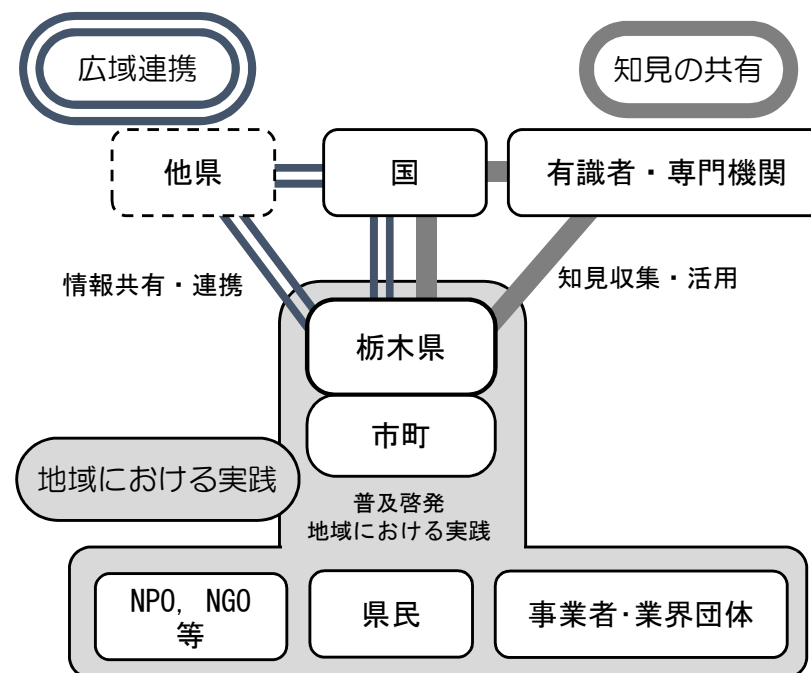
(4) 連携協力

県庁内において分野横断の連携体制を構築するほか、市町との連携、国や近隣県との広域連携を強化。

分野横断の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内連絡会議を設置し、情報や取組方針を共有したうえで対策を推進する。 ・ 市町との連携体制を再構築し、連携を強化する。
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣県との間に協議会を設置するなどし、外来種の分布等の情報共有や対策の連携を強化する。
関係主体との協力・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な主体との連携体制を構築し、関係者が一体となって取り組むべき課題であるという認識を共有し、協働による対策を推進する。

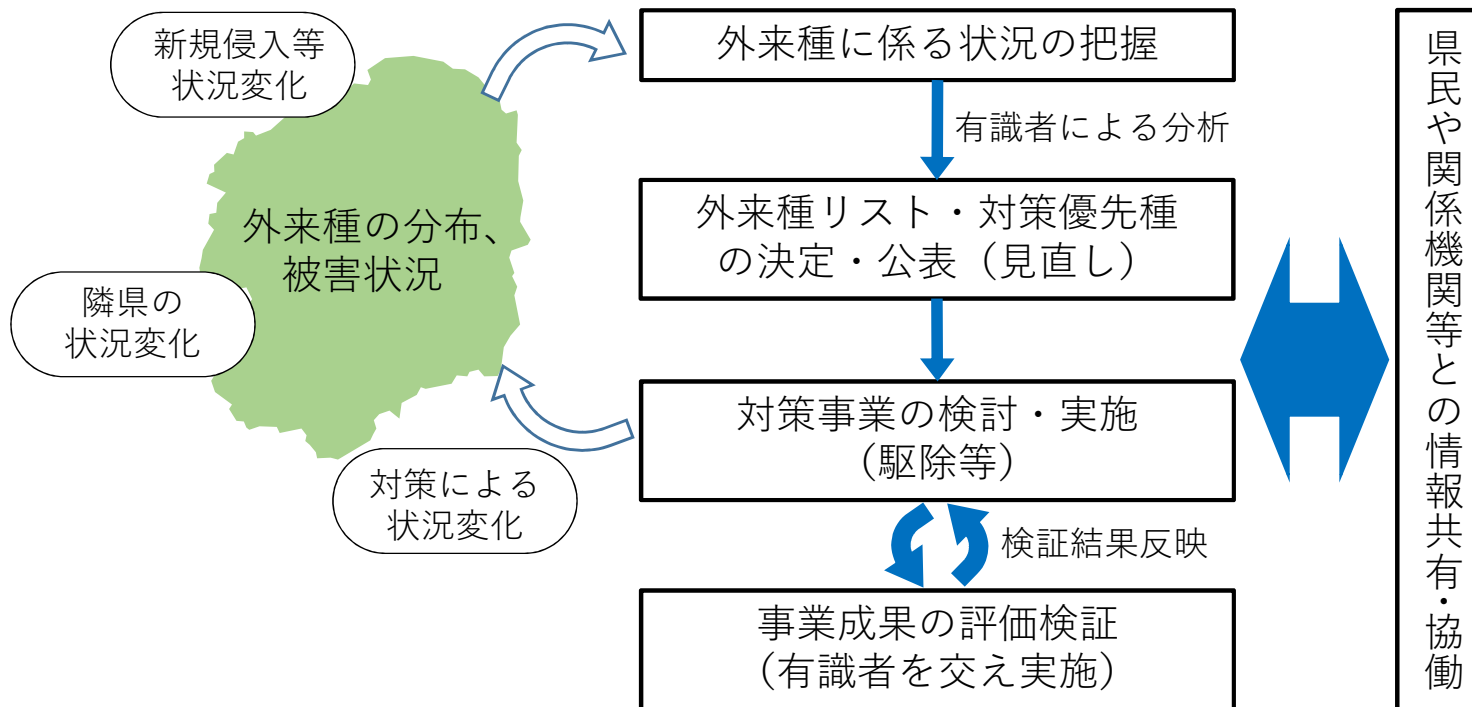
<県の主たる役割>

- 外来種の分布等に関する情報の収集・整理・提供、取組の評価
- 普及啓発、取組成果に基づく広報
- 県内各主体の連携の主導、広域的な防除のための市町または他県との調整
- 国との情報共有



各主体の役割及び連携の概念図

4 実施サイクル



《参考》今後のスケジュール

外来種対策方針策定	外来種対策プロジェクト開始	令和3年度 第1四半期	第2四半期	第3,4四半期
		基礎情報収集・整理	外来種リスト ・対策優先種 の決定・公表	県民等からの情報収集、
		情報分析、侵略性・緊急性等検討 （有識者へのヒアリング等）		リスト随時更新
		従来から実施している対策の継続実施（クビアカツヤカミキリ等）	対策優先種等を踏まえた情報発信	
				戦略的取組を協働で推進